

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして
みんなが

（住んでよかった）
と思える川西市に...

たんぼぽだよ

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市会議員団控え室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぼぽだよブログ

http://kurodamich.exblog.jp



9月議会

「中学校給食の実施をぜひ」

具体化へ「検討委」の設置を提案

9月議会で私（黒田）は、「中学校給食の実施」「教育環境の整備」「二の鳥居駅前の整備」の3項目で一般質問を行いました。（ブログ「たんぼぽだよ」もどうぞ）

「食」からはじまる こどもの育ち

中学校給食は全国的に広がり、大塩市長も当初「中学校の完全給食実施」を公約に掲げていましたが、進んでいません。

私は、家庭での食文化の継承の難しさや経済格差が、食は人間形成の要であり、安心・安全な食材で栄養バランスがとれ、豊かな献立の学校給食をどの子にも保障していく必要性、

中学校給食実施が急務であることを強く訴えました。

その上で、①川西市の第5期総合計画（H25年）策定と合わせ、中学校給食を実施するための児童、生徒、保護者へのアンケート

を実施することなど具体的な計画（今年度）が答弁としてかえってきました。



一の鳥居駅前 ちょっと前進

ホームまでの長い階段や狭い道路での車と人の交差など問題の多い一の鳥居駅。エレベーター設置等も求め続けていますが、今回は、駅前ロータリーの設置などの安全対策を求めました。

駅前前道路をかさ上げし駅舎の段差を解消することなど具体的な計画（今年度）が答弁としてかえってきました。

駅前の「安全」については、地元住民の方の声をしっかり聴いてくれるように切に訴えました。

一庫新駅建設にむけて

9月4日、「一庫地区まちづくり勉強会」で駅舎建設の具体的課題などが提案。今、アンケート調査中です。今後の進捗状況は、適宜報告します。

北陵小学校に 図書室と新教室を

学区拡大は拙速に 行うべきではない

住宅開発が進み、こどもの数・クラス数が増えている北陵小学校地域。秋以降1学区への拡大が検討されている問題で、当該8市1町の日本共産党議員団は8月29日、兵庫県教育委員会に「申し入れ書」を提出し懇談しました。

公立高校の「全県5学区」への再編、伊丹学区の「8市1町」が、川西市から篠山市や丹波市へ通うことについては県に意見を述べているところ」と語っています。引き続き、十分な説明会の開催、意見や要望の聴きとりをするよう求めています。

ない状況が何年も続いていること。兵庫県で実施されている35人以下学級を無理なく選択・実施できるためにも、こども達の豊かな成長のための図書室設置をするためにも増築もしくはプレハブ校舎の建設を行うべきと強く求めました。

丹波市・篠山市から「広範な地域から学校を選択できるようになると、もつとこの地域の過疎化がすすむ」といった不安がだされたほか、各自自治体から「保護者への説明が不十分」「遠くまで通う時間的、体力的、経済的負担が大きすぎる」「選択の幅が広がるというが、逆にはじかれていくこどもが生まれる」などの不安や不満の声を紹介。拙速に「県内16学区を5学区に拡大する答申」を出さないようにとの意見が集中しました。

黒豆のつぶやき

「死の町」「放射能をつけたぞ」の暴言を吐いた大臣が辞任。あまりにも腹立たしく、やりきれない思いである。

12日朝、保育所の前で保護者の方に「なぜ、原発に反対するのかわかりません。原子力研究者に聞く」の講演会の案内チラシを配布。「おはよう」と笑顔と笑顔で受け取ってください。

「九条の会かわにし」が、9月25日（日）に川西市中央公民館大集会室で開催する講演会で、お話しをされるのは7月27日の衆議院厚生労働委員会の参考人として話された今中哲二助教。

今中助教は、京都大学原子炉研究所の研究者。「とくに細胞分裂を活性化に繰り返す、これからの人生が長いこどもは、なんとしても被曝を避けなければならない。放射能の放射能を浴びさせてはいけない。素敵な笑顔ははずっと笑顔でなくてはならない。チラシをまきながら改めて思った。この国のあり方を変えていくのは、大臣ではなく、国民の草の根の運動や声の広がり、「人間らしく生きたい」との手つなぎだと感じる。

野田新首相の素顔

政権交代2年で3人目



野田佳彦首相の新政権発足。どんな特徴があるのでしょうか。見えてきたのは、消費税の増税など国民に痛みを押し付ける、民主、自民、公明による「大連立」―悪政の翼賛体制加速の動きです。

大連立

民主党が政権交代を果たした2009年総選挙から丸2年となった30日、衆参本会議で選出された野田佳彦新首相。野田氏の言葉をみてみると。

大連立

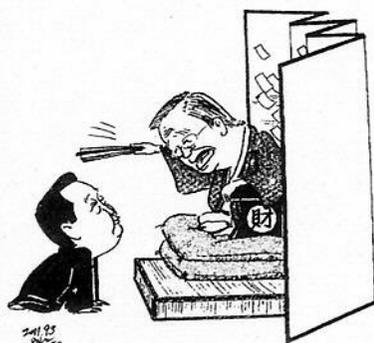
「公党間の約束だ」「野党と丁寧な協議をした」「野田新首相は党代表に就任するやいなや、国会内で自民党の谷垣禎一総裁、公明党の山口那津男代表と相次いで会談。子ども手当廃止をはじめ民主主義の主要政策を見直すとした民主、自民、公明の3党合意に基づき、自公両党との政策協議を加速させる立場を示しました。

見直す政策は、いずれも民主主義が09年総選挙で「看板公約」としたもので、3党合意には復

志位委員長が訴え

日本共産党の志位和夫委員長は、国会議員団総会(31日)のあいさつで指摘しました。一民主主義が、自民、公明両党にすりよる、野田新体制のもと

国民「裏切り」の言動



ワルシ・ヒロ

誌に発表した「政権構想」で「与野党の連立政権が閣外協力か、協力の形はともかく、与党たる民主党の取るべき姿勢は明らかです」として、「大連立」構想を示している。18日の講演では、「(自公に)101回でもプロポーズしていく」とまで表明しました。

消費税

繰り返す増税明言

「来年の通常国会に(消費税の)法律を提出する。当然秋口に、税制の根本改革をやる」。野田新首相は、代表選で繰り返す消費税増税を行う姿勢を示しました。

外交・安保

「沖繩新基地」推進

「日米合意を踏まえる」。野田新首相が党代表就任早々明言したのが沖繩・米軍普天間基地問題です。同名護国市辺野古への新基地建設を進める「日米合意」にしがみつく姿勢が、「県内移設反対」で島ぐるみのたたかひとなっている沖繩県民との矛盾を激化させるのは必至です。

原発

「再稼働」ありき

「安全性のチェックをして再稼働」が野田新首相の基本的な原発方針。従来の不十分な「安全基準」のまま原発を推進するもので。党代表選で示した政権政策で野田新首相は「原子力発電の活用により、電力の安定供給を確保する」と宣言。これは、電

しん赤旗

「税制措置をとりざるを得ない」と述べ、消費税を含む基幹税の増税を唱えています。

「社会保障・税一体改革」では、消費税増税のほか、医療費のさらなる負担増、年金の支給開始年齢の引き上げ、生活保護制度の支給額の「見直し」などの大改悪の内容も盛り込まれています。野田新首相の姿勢からは、社会保障の大改悪と増税の自公政治への回帰しか見えてきません。



「相手国が求める限り、その危険性と安全対策を伝えることは、震災後の日本だからこそできる新しい国際貢献(『文芸春秋』9月号)とまでいっています。8割にのぼる「原発の廃止・縮小」の国民世論に真っ向から背を向けているのです。